

地域医療へ人材育成

岡山大の寄付講座開講記念式典



県の寄付によって本年度、岡山大大学院医歯薬学総合研究科に設けられた「地域医療人材育成講座」の開講記念式典が18日、岡山市内のホテルであり、同大、県、自治体などの関係者約200人が県北部の医師不足解消など、地域医療推進に向けて決意を新たに示した。

県、自治体関係者 決意新た

同研究科の植野博史科長が「これまで大いには地域医療に特化した講座はなかった。学内外のご協力をぜひともお願いしたい」とあいさつ。講座を担当する片岡仁美、佐藤勝の両教授が「人材育成というミッションを成功させたい」などと抱負を述べた。

講座には興味がない」と科長が「これまで大いには地域医療に特化した講座はなかった。学内外のご協力をぜひともお願いしたい」とあいさつ。講座を担当する片岡仁美、佐藤勝の両教授が「人材育成というミッションを成功させたい」などと抱負を述べた。

パネルディスカッションでは、神ノ田昌博県保健福祉部長が「専門医志望なので地域医療」岡山大、県などの関係者が出席した開講記念式典

講座は、県と岡山大が結んだ協定に基づき2013年度まで実施。寄付総額は1億2千万円。地域医療を担う人材の育成や女性医師の復職支援、県北部への支援体制づくりな

どに取り組む。
(河内慎太郎)